

2010年7月22日(木)

報道関係者各位

笹川平和財団

【ミクロネシア医療関係者交流】
ミクロネシア連邦のスキリング保健社会福祉大臣招へいに
伴う個別取材のご案内

笹川平和財団(SPF)・笹川太平洋島嶼国基金は、2010年7月26日～8月3日にかけて、ミクロネシア連邦のスキリング保健社会福祉大臣を招へいします。これに伴い、報道関係者の皆様へ個別取材をご案内します。

初の訪日となるスキリング大臣は、フィジーやニュージーランドのメディカル・スクールで学んだ後、小児科医として医療の現場に携わる傍ら、同国の医療保健政策の立案にも中心的な役割を果たしてきました。

滞在期間中、スキリング大臣は太平洋島嶼国の医学教育を管轄する西太平洋地区医学教育連盟(AMEWPR)の年次総会(7月31日～8月1日)で講演するほか、厚生労働省や外務省への表敬訪問、東京女子医科大学の医療施設、島津製作所(京都三条工場)などの視察を予定しています。

今回の招へいは、2010年7月より当財団が新たに開始した「ミクロネシア医療関係者交流」事業の一環として行われるものです。11月にはミクロネシア連邦大統領の公式訪問が予定される中、本取り組みが日本とミクロネシア連邦の関係強化に大きく貢献することが期待されます。

個別取材をご希望の方は、以下の担当までご連絡下さい。日時を調整します。

笹川平和財団 笹川太平洋島嶼国基金(世古、塩沢)
電話: (03)6229-5450 携帯(26日以降):090-6940-9103 Fax: (03)-6229-5473

* 当日通訳は付きませんので、取材は英語で行って頂くことになります。

「ミクロネシア医療関係者交流」事業:10万人に及ぶ人々が65の島で暮らすミクロネシア連邦では、医療人材が慢性的に不足しています。そうした状況下において、地域の診療所で限定的な医療行為を行い、規模の大きい病院での治療の必要性を判断するヘルス・アシスタント(HA)の役割が重要視されています。本事業は、日本の知見の共有を通じて、HAの医療技術や医学知識向上を支援します。

笹川平和財団(SPF)はグローバルな視点に立ち、国際的な公益活動を行っている民間助成財団です。笹川太平洋島嶼国基金は、SPF内に設置された特定基金の一つで、太平洋島嶼国を対象に、海洋国家としての平和と連携への協力、島嶼国の自立への協力にかかわる事業を支援・実施しています。